

採 択 理 由

【特別の教科 道徳】 発行者・・東京書籍㈱

- 1年生の導入では、学ぶ内容や学習の進め方など、スタートカリキュラムに配慮し幼児期からのつながりが示されていること。また、高学年では中学校とのつながりに配慮した自己の生き方に関わる教材が配置され、保幼小中の連携の工夫がされていること。
- 「いじめ問題」については、全学年を通じて教材を効果的に配置し、児童がより深く主体的に考えることができる内容になっていること。
- 「出会う・ふれ合う」でコミュニケーション活動が促され、多様な感じ方や考え方に触れることで、自分の考えを深めていくことができるようになっていること。
- 生活科や社会科などの体験学習と関連を図った教材や、家庭や地域社会との共通理解を深めることができる「付録 つながる 広がる」が巻末に配置されていること。
- 1年間の学習を振り返る「これからもかがやく自分に」を配置し、自らの道徳的な成長を実感し、新たな課題や目標を持って次の学年につなげることができるようになっていること。
- 2年前に新たに導入されたばかりの教科であり、継続性に配慮したこと。